

常なる磐

つねなる いわ season II
令和3年6月18日(金)
その3

◇ 「いい光景」と「実のある時間」

1・2年生合同体育【表現活動】の一コマ。よく見ると、教員が4人いる。
赤➡は、6年生の浅野教諭だ。研究授業ではない。これは通常授業の一コマだ。



この日の授業とは別日に島田教諭が指導する表現活動の授業を見たが、一言でいえば、「授業が上手い」。先生の発する一言で、子供はあっというまにその気になり、活動意欲は衰えることはない。

その情報をどこで得たかは知らないが、浅野教諭は、わずかな教材研究の時間を使って自主的に授業を見て学びに来ていたのだ。

3名ずつに分かれての「チーム学習」。合同体育だからできる活動だ。すると…



<島田教諭>



<伊藤貴教諭>



<青木教諭>



【浅野教諭】

【教師に流れる血】が騒いだのだろう。

浅野教諭が手にしていた記録用のファイルを置いて、指導者として加わってしまった。おかげで、児童13人に対して指導者4人。何とも贅沢な授業となった。